

和歌山県 公立高校入試制度

【2026年度版】

入試の概要

和歌山県の公立高校入試は、スポーツ推薦、一般選抜、特色化選抜の3種類です。スポーツ推薦出願者も一般選抜と同じ学力検査を受け、スポーツ推薦で合格とならなかった場合は一般選抜での合否判定が行われます。出願から発表までの日程はどちらも同じです。一般選抜では一般出願後、本出願までに志望校を変更できますが、スポーツ推薦の場合は変更できません。また、どちらの選抜でも一般出願をしていない場合、本出願はできません。

	出願	入試日	合格発表
スポーツ推薦 一般選抜	一般出願：2/16(月) 本出願：2/25(水)・26(木)	学力：3/10(火) 実技・面接等：3/11(水)	3/18(水)
特色化選抜	1/22(木)	1/29(木)	2/6(金)

出願は1校1課程1学科に限りますが、同一校・課程に限って第2志望まで出願できます。スポーツ推薦の場合、第2志望は一般選抜の第2志望となります。

●特色化選抜

一部の学校で実施され、選抜の種類は、連携型中高一貫・農業・宇宙・地域・学際・芸術(音楽・美術・書道)・スポーツ健康科学・スポーツがあります。スポーツは出願時に競技成績を証明できる書類の提出が必要です。選抜は面接及び小論文・作文・実技の中から学校が指定する検査を行います。

判定資料

●学力検査

- 一般選抜、スポーツ推薦ともに同じ内容、日程で受検。
- 国語・社会・数学・理科・英語の5教科。各50分、100点満点。
- 基本的に500点満点で扱うが、学校・学科によって2倍以内で傾斜配点を行う場合もある。

●調査書

- 評定は5段階評価、9教科、3年分。3年次のみ点数を2倍とする。
 $(5 \times 9) + (5 \times 9) + (5 \times 9 \times 2) = 180$ 点満点
ただし、学校・学科によって2倍以内で傾斜評価を行うことがある。
その場合は、傾斜評価後の合計を満点とする。
- 評定の他に「特別活動に関する特記事項」「校内外の活動に関する特記事項」「観点別学習状況」等の記録も評価する。

●スポーツ実技

- スポーツ推薦は学力検査の他に実技検査を行う。内容は各学校が定める。

●面接・実技・作文または小論文など

- 一般選抜でも、学力検査以外に必要に応じて面接・実技・作文または小論文などを実施することがある。内容は各学校が定める。

合否判定

●スポーツ推薦

- ・スポーツ実技、学力検査、スポーツ推薦書、調査書を総合して判断する。

●一般選抜

①(ア)～(ウ)に当てはまる者を募集枠の80%まで合格予定者とする。

表にあるように、各基準の合格予定者の割合は学科ごとに定められている。

- (ア)調査書の内容が優れています、
学力検査点が募集枠内にある者
(イ)学力検査の点が優れています、
評定が募集枠内にある者
(ウ)面接や実技などが優れています、
評定及び学力点が枠内にある者

学校名	学科名 (コース等)	割合				内容
		調査書 割合	傾斜 評価	学力検査 割合	傾斜 評価	
那賀	普通科	30%		70%		
	国際科	30%		70%	国1.5 英1.5	
貴志川	普通科	40%		60%		
和歌山東	普通科	40%		40%		20% 面

※ただし、(ア)(イ)で面接等の結果に著しく問題がある場合は合格予定者から除く

②①での合格予定者が募集定員の80%に満たなかった場合、80%まで合格予定者を増やす。ただし(ア)～(ウ)の割合を保つよう調整する。

③②までで合格とならなかった者に、スポーツ推薦で合格しなかった者、第2志望者を加え、調査書・学力検査・面接等を総合的に判断し、募集枠の100%まで合格予定者を決定する。

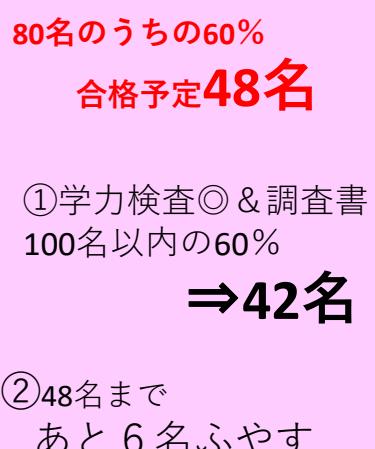
④最後に、全ての合格予定者を総合的に判断して合格とする。

【例】募集定員100名、調査書 40%，学力検査 60% の場合

調査書が優れている人



学力検査が優れている人



スポーツ推薦
不合格者

第2志望者

③調査書と
学力検査を
総合的に
判断
合格予定
20名

100名
合格

①②で合格しなかった人